

(表紙例1)

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立福島小学校

令和8年4月

大阪市立福島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校ではこれまで、児童一人一人の人権を守り、将来に向けた自立の力を育むために、主体的な学びや態度、コミュニケーションの力を伸ばすことが、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育むことにつながると仮定し、様々な取組を積み重ねてきた。また、教育活動の基盤として、児童一人一人の自己有用感を高めていくために、全員参加の授業を構築してきた。

本校では平成27年からの6年間は外国語科・外国語活動の研究に、令和3年度からは国語科の研究に取り組んできた。その取組を通して、児童は自分の思いや考えを表現しようとするようになってきた。「表現すること」「コミュニケーションをとること」は個々のスキルも必要であるが、学習集団としての、「何でも言える」「間違いが許される」という環境が不可欠であり、その環境を全ての教育活動を通して育んできた。

全国学力・学習状況調査や大阪市小学校学力経年調査や児童アンケート等からも、学力について一定の成果が見られる。また、バスケットゴールの設置や一輪車・竹馬の更新、放課後校庭開放の実施など運動環境の整備を行ったことや、なわとび週間やかけ足週間の取組の工夫や充実などにより、体力・運動能力についても向上が見られる。

しかしながら、児童質問紙等からみられる実態としては、話し合い活動の有効性やその経験から自己有用感や自尊感情の高まりを児童が感じ取るには至っておらず、自分の考えや思いを自分の言葉で表現したり、考えの違いを認め合ったりする経験を積むことが必要であることが明らかになった。そこで、昨年度から2年間にわたり、学級活動を本校の研究領域と位置づけ、児童が主体的に対話し、自治的・自発的な活動に取り組む態度を醸成していくこととした。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くことは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。(令和7年度 85.7%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(令和7年度 87.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を89%以上にする。(令和7年度 86.7%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(令和7年度 90.6%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(令和7年度 81.3%)

○ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。(令和7年度0%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○ 小学校学力経年調査における「学校に行くことは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。(令和7年度 85.7%)

○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.5%以上にする。(令和7年度 87.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上にする。(令和7年度86.7%)

○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。(令和7年度90.6%)

【学びを支える教育環境の充実】

○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(令和7年度81.3%)

○ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。(令和7年度0%)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立福島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	評価
【安全・安心な教育の推進】 全市共通目標 ○ 小学校学力経年調査における「学校に行くことは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。（令和7年度 85.7%） ○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.5%以上にする。（令和7年度 87.1%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容①	【基本的な方向 安全・安心な教育環境の実現】 いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努めるとともに、生活指導上の課題に組織的に対応し、児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進める。	
指 標	「学校に行くのは楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。	
取組の進捗状況 結果の分析		
後期に向けて		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容②	【基本的な方向 豊かな心の育成】 人権教育や道徳教育、学級活動の充実を通して、自分を大切にし、他者を尊重しながら、ともによりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。	
指 標	「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.5%以上にする。	
取組の進捗状況 結果の分析		
後期に向けて		

大阪市立福島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	評価
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上にする。（令和7年度86.7%）</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。（令和7年度90.6%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容①	<p>【基本的な方向 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「確かな学力を育む」という認識のもと、校内研修や研究授業を通して、話し合い活動の充実を図り、自分の考えを伝え合いながら学びを深める授業づくりを進める。</p>	
指標	話し合い活動の充実に関する校内研修を年間3回以上実施し、研修内容を踏まえた研究授業または授業公開を全教員が年1回以上行う。	
取組の進捗状況 結果の分析		
次年度に向けて		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容②	<p>【基本的な方向 健やかな体の育成】</p> <p>児童が運動に親しむ態度を育てるとともに、体力の向上をめざし、学校全体で運動に親しむ取組を進めるとともに、休み時間の外遊びを促す工夫や、運動の楽しさを感じられる体育の授業づくりを進める。</p>	
指標	学校全体で運動に親しむ取組（なわとび週間、かけ足週間等）を年間2回以上実施し、運動の楽しさを感じられる体育の授業づくりに関する研修を年間1回以上実施する。	
取組の進捗状況 結果の分析		
次年度に向けて		

大阪市立福島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	評価
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。（令和7年度81.3%）</p> <p>○ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。（令和7年度0%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容①	<p>【基本的な方向 教育DX】</p> <p>ICT機器を効果的に活用し、児童が情報を収集・整理し、まとめ・表現する学びの充実を図るとともに、校務の効率化を進める。</p>	
指 標	学習者用端末を活用し、調べたことをまとめたり伝えたりする学習活動を、各学級で学期に1回以上実施する。	
取組の進捗状況 結果の分析		
次年度に向けて		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容②	<p>【基本的な方向 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校内研修やユニット制を生かし、教職員が連携・協働しながら組織的に教育活動を行う体制づくりを進める。</p>	
指 標	校内研修を毎月1回以上実施し、ユニット会議を毎週1回以上実施する。	
取組の進捗状況 結果の分析		
次年度に向けて		

大阪市立福島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	評価
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。（令和7年度81.3%）</p> <p>○ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。（令和7年度0%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容③	<p>【基本的な方向 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】</p> <p>PTAや地域諸団体、ボランティア等と連携し、児童の学びや体験活動の充実を図り、地域とともに児童の成長を支える教育環境づくりを進める。</p>	
指 標	PTAや地域諸団体、ボランティア等と連携した学習活動や体験活動を、各学期に1回以上実施する。	
取組の進捗状況 結果の分析		
次年度に向けて		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		評価
取組内容④	<p>【基本的な方向</p> <p>】</p>	
指 標		
取組の進捗状況 結果の分析		
次年度に向けて		

